

-
1. 佐地共連総会 6/18（土） 基調講演 市民協 田中尚輝氏 ほほえみ館 報告
 2. 8月20日（土）佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修講演会（第2回）
 3. 熊本地震 南阿蘇村支援「竹田市ベースキャンプ」へのボランティア派遣7月末まで
 4. ブロック活動・予定・事務連絡
-

1. 平成28年度佐賀県地域共生ステーション連絡会総会&記念講演報告

平成28年6月18日、佐賀市ほほえみ館4階視聴覚室会場で、佐賀県地域共生ステーション連絡会定期総会が開催されました。

代表西田より開会の挨拶、来賓として佐賀県地域福祉課長の高尾徳二様、佐賀市高齢福祉課長の江頭健司様より、地域共生ステーションの現状や課題これからの方向性などについてご挨拶をいただいています。

27年度報告では、地域戦略としてブロック活動の充実を図っていくことや、要支援の受け皿づくりとして総合事業への参入を総括として報告、実際の事業では、資質アップ研修の取り組みや、ブロック毎の住民も交えた「地域交流イベント」の取り組みなどの新たな事業や、共生ステーションのパンフレットの作成、今後の共生ステーションのアンケート集計の必要性などが報告されています。その他、熊本支援の継続、規約の一部変更（会費）などが共有されています。お忙しい中でのご出席誠にありがとうございました。

■記念講演「介護保険の変化にどう備えるか!!」 市民協専務理事 田中尚輝氏

1. 変化の必然性

1) 財政状況 国家財政の破綻

介護保険制度 15年度 10兆円 25年予測 21兆円

社会保障費 15年度 109兆円

（年金、医療、介護保険、障がい者、生活保護など）

2) 当初設計の誤り

要介護・要支援の範囲を大きくしすぎた⇒ドイツ方式に要支援3以上に修正途上

2004年から「地域包括ケア」が登場

3) 財政状況の改善方法

①収入拡大

・保険料の値上げ

・保険支払人の拡大（第2号保険者を現行の40歳以上から、20歳以上へ）

・本人の自己負担を1割から2割へ⇒医療保険並に

・保険料：一般財源＝5：5⇒4：6へ

②支出の軽減

- ・要支援の締め出し（今回）⇒要介護1，2の締め出し（次期）
- ・サービスの劣化
- ・介護報酬の切り下げ
- ・事業者の追い出し

2. 宅老所システムへの攻撃

- 1) 上記1. の3)、②の理由
- 2) 「茶話本舗」の進出について危惧⇒儲けしか考えない事業者には介護保険から退出してもらおう。⇒ある厚生労働省官僚のオフレコ発言
- 3) 方向性としては、安く、大量のサービス提供者に特化していく

3. 今後の方向

- 1) 介護保険事業者として生きる
 - ①要介護1，2も切られていくから、要介護3，4へのサービスシフト
 - ②この場合、医療との提携は不可避、重度者対応事業所へ
 - ③地域密着型サービス事業所への移行
- 2) 他の収益事業の確保
 - ①住宅事業（サ高住、有料老人ホーム、アパート・マンションなどの経営）⇒居住者支援協議会
 - ②高齢者生活支援サービス
- 3) 改正介護保険による軽度者サービスの充実
 - ①サービスA（訪問、デイの緩和されたサービス）⇒長期的にはこの事業は削減
 - ②サービスB（ボランティアによる地域づくり）
 - ⇒本流 サービスへの対価はなしだが、提供団体への支援、補助金は可能
 - ⇒千葉県松戸市の場合：ボランティア時間の総計×@500円 月に500時間の場合
500時間×500円=25万円、1年間300万円
 - ③サービスD（移動サービス、サービスBと同じ扱いに持っていく）
- 4) 生活支援コーディネーターを担う
 - ①生活支援コーディネーターの役割
 - ・足りない社会的資源（ボランティア）を創る
 - ・社会的資源のネットワーク化
 - ・要支援者とのマッチング
 - ②謝礼（活動費）
 - 第1層の生活支援コーディネーター 年間800万円
 - 第2層の英活支援コーディネーター 年間400万円
 - ③配置基準
 - 第2層生活圏・中学校区に1人 全国に1万人
 - 第1層市長村あたり
- 5) 各団体は、戦略を持たなければ、生き残れない。

以上を中心にお話していただきました。誠にありがとうございました。

2. 佐賀県地域共生ステーション資質アップ研修会 **（第2弾）**

「新しい福祉ビジョンその準備(仮)」

講師 : つばさグループ (株)オールプロジェクト代表取締役

社会福祉法人 志真会 (千葉県)

理事長補佐 **津金澤 寛** 氏

介護保険制度を中心にした事業が続いてきた中で、今後の更なる改正への不安の声は多く、新たな事業展開が求められています。総合事業への参入も含め、他の制度サービスの可能性など、発想の転換が求められています。

厚労省から「地域包括ケアシステムの方向性～新しい福祉ビジョン～」が示されました。そこには地域の実情を踏まえた支援の総合的な提供として「地域において誰もが支え合う共生型社会を実現し、人口減少下における効率的で柔軟な事業運営を確保するため、まちづくりの一つの形として、高齢、障害、児童等の福祉サービスを総合的に提供できる仕組みを推進する」とされています。それを実現するための運用上のガイドラインも示されています。これは佐賀県がこれまで長年推進してきた共生ステーションの考え方そのものです。今後どのような心構えで、どういう備えが求められるのか、介護保険の動向に精通され、講演等精力的に活動されている講師をお招きし、皆さんと前向きな危機意識を共有し、共に考えていきましょう。

(別添チラシ案)

※総会の田中尚輝氏による「介護保険の変化にどう備えるか」に続いて、第2弾の研修講演会になります。時間も2時間になります。佐賀に一度来られたときにお話しをお聴きし、これは連絡会の方には聞いておいていただきたいと思い企画しています。是非ご予約ください。(事務局)

3. 南阿蘇村支援「竹田市ベースキャンプへの派遣」7月末まで

竹田市ベースキャンプからの南阿蘇村支援のボランティア派遣は、7月末までとなっています。お申込をご希望の方は、連絡会事務局までご連絡ください。

(震災支援金へのご協力の皆様)

- NPO法人ひまわり
- 認定NPO法人たすけあい佐賀
- 宮城県山元町 ささえあい山本 山本礼子様
- (有) さくらえん
- 認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家
- NPO法人宅老ちよだひまわりの会

- (有) おあしす
- NPO法人幸の輪

(南阿蘇村支援竹田市ベースキャンプ派遣協力)

- NPO法人こだま
- NPO法人余暇センターきたじま
- 認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家

※ご支援誠にありがとうございました。

4. ブロック情報・予定・事務連絡・その他

中部ブロック (佐賀市・小城市・多久市・江北町・大町町)

■佐賀県地域共生ステーション連絡会中部ブロック会議の報告

平成28年6月22日14時から、(有)ライフアメニティーデイホーム家族にて、ブロック会議を開催しました。

「人の入れ替えが多かった」「保険と合わせ自費サービスをどうするか」「宅老所の人を有料老人ホームに移ってもらった」「子連れのスタッフの受入れは必要」「加算をとっていたが動けなくなるので取りやめた」など活発な意見交換を行いました。

西部ブロック (武雄市・鹿島市・嬉野市・白石町・太良町)

■西部ブロック (嬉野・鹿島・太良) 地域共生ステーション連絡会研修

日時：平成28年7月20日 19時～21時

場所：鹿島交流プラザ

内容：「仕事のマナーと接遇」 研修担当：さくらさくら、鹿城

※皆さんふるってご参加ください！！

北部ブロック (唐津市・伊万里市・有田町)

■北部ブロック会唐津地区ミニブロック会の開催報告

日時：平成28年6月28日(火)14時～

場所：北波多公民館にて

内容：「リハビリについて」

講師：やまもと宅老所だから「永嶋亜依子様」

参加：6施設 12名

山本デイサービスのたからの永嶋亜依子さんによるリハビリ講義は、作業療法士で実践されて来られたので、とても良くまとめられていて、職員にも十分解りやすい内容でした。「たから」での取り組みの資料では、実際に行われている事を職員の心構えとして示されていて、直ぐに実行できることだと思いました。何より一時の事にならない様に、継続していくことの難しさがあるようです。どうしても集団でのリハレク的になりがちですが、短い時間でもお一人毎の能力ややる気に添って取り組めば、加算を考えなくてもご利

ユーザー様の ADL 低下を防ぐことが出来るのではないかと思いました。各施設での発表は、まず我が施設の恥ずかしい面を出してしまいましたが、これも日頃怠けている証拠だと反省しました。果樹園の江頭氏も言葉遣いなど、接遇以前の問題だと日頃の思いを述べられました。(感想:幸の輪 松永様)

やまもと「宅老所だから」永嶋様、真にありがとうございました。

■北波多地域共生交流イベント開催案内

日時：平成 28 年 7 月 17 日（日） 10：30～14：00

参加費： 無料

会場： 「真心の家」駐車場 唐津市北波多岸山 587-5

内容

10：30～ 挨拶

10：40～ 講演「地域共生について」

11：10～ 交流イベント 多彩な催しが企画されています

【主催】NPO法人ひまわり 宅老所真心の家

【共催】佐賀県地域共生ステーション連絡会北部ブロック会

お問合せ NPO法人ひまわり 宅老所真心の家 0955-64-2662（井上まで）

※別添チラシ

東部ブロック（神崎市・吉野ヶ里町・上峰町・鳥栖市・基山町）

■とさくさんが「たしろ茶屋」 居場所カフェをオープンしました！！

最初の 1 カ月は毎日営業

お年寄りと地域の人たちが集い歓談する古民家カフェ「たしろ茶屋（サロン）」が 17 日、鳥栖市桜町の JR 田代駅前にオープンした。家に閉じこもりがちなお年寄りらが立ち寄りたくなる居場所をつくり、健康増進にもつなげる狙い。「とても落ち着く」「毎日開けてほしい」。強い要望を受けて週 1 回の営業予定を当面 1 カ月、毎日開店することに決めた。カフェを開設したのは NPO 法人「とさくさん」（白水峰子理事長）。白水さん（63）は幼稚園教諭や保育士をした後、特別養護老人ホームで働くなどさまざまな経験を重ねた。その中で、「心豊かな老後は、動けるうちは自活し、その後はにぎやかで温かな地域の福祉環境の中で過ごすことだ」との思いに至った。11 年前、県が打ち出した地域共生ステーションに真っ先に手を挙げて第 1 号指定を受けた。2 年前からは仕立屋だったこの古民家を借りて手芸、絵手紙、音楽リハビリなどを行う「はつらつ教室」を地域に支えられながら続けてきた。カフェは広さ 16 畳ほど。テーブル三台にイス 14 脚をそろえた。コーヒー 300 円、コーヒーとケーキのセット 500 円、カレー 500 円などを提供する。JR の線路が目前にあり、「ななつ星」が通る時刻には客と一緒に店外に出て手を振って歓迎する。当初計画では毎週木曜日のみの営業としていたが、開店初日に予想を上回る 30 人が訪れた。毎日営業するよう強い要望が寄せられたため、1 カ月間は休まず、営業時間も延長し、需要を測ることにした。メインのカレーは白水さん特製。コーヒーは団塊の世代に懐かしいサイホンで入れる。法人名「とさく」は白水さんの亡父の名前「十策（とさく）」から取った。営業時間は午前 10 時～午後 5 時。電話 0942（84）8087。（佐賀新聞より抜粋）

総合事業につながる取り組みです。皆さんの地域でも是非！！

事務局

●平成28年度は、加盟数は、法人会員75団体、個人会員2名となっています。

★新規会員 東部地区 NPO法人寄り合いステーションさくら坂 様
北部地区 有限会社お世話宅配便 様

★新規個人会員
佐賀未来創造基金 山田健一郎 様

ありがとうございました。今後ともよろしく申し上げます。

●28年度会費更新のお願い

今年度より、会費を年5,000円／1法人、と改定しました。会費の納入がお済でないところはお早目にお願ひ致します。

●認定NPO法人市民福祉団体全国協議会のグループ会員になりました。

連絡会で市民協の会員になりましたので、連絡会から随時市民共のMMニュースも配信します。

●会員様の共生や地域づくりの取り組みをお寄せください。

●ブロック代表、世話人の皆様、会員の皆様、イベント等の活動・予定など随時ご

報告ください。 **(別添) 活動報告書 随時MMに掲載いたします。**

●国土交通大臣認定 福祉有償運送（セダン含む）講習会開催！！

「移動サービス認定運転者講習」 移動サービスをはじめませんか！！

第38回移動サービス認定運転者講習会（福祉有償運送大臣認定講習）を**9月3日、4日（土日）**の両日、さが福祉移動サービスネットワークにて開催いたします。デイサービスの安全運転のスキルアップ、また、今後、総合事業がはじまり生活支援の中の移動支援に関心を寄せていただく上でも受講をお勧めしています。「さが福祉移動サービス・ネットワーク（ふくしの家 0952-36-6865 又は、ふくしの家HPから申込み用紙をダウンロード）にお申込みください。

●事故にはくれぐれもご注意ください。

デイサービス事業所で、内部研修で安全運転講習を企画される場合は、ご連絡ください。

●書籍販売（総合事業への取組の参考テキストにどうぞ）

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル3「居場所・サロンづくり」
公益財団法人さわやか福祉財団 編 1,200円

※10冊入荷しました（あと6冊です）

◆住民主体の生活支援サービスマニュアル6「移動・外出支援」
特定非営利活動法人全国移動サービスネットワーク 編 1,200円

※入荷しました。

●佐賀県CSO支援自販機を設置しています

佐賀県地域共生ステーション連絡会では、佐賀県と協働し「佐賀県CSO支援自販機」を、コカコーラウエスト様及び西日本ビバレッジ様のご支援により下記に設置しております。

★コカコーラウエスト様自販機 アバンセ1F

★西日本ビバレッジ様自販機 九州シンクロトロン光研究センター2F交流センター

CSO支援飲料水等の購入による売上の一部を自販機設置事業者がCSOに寄付する自販機のこと、連絡会の活動資金に活用させていただいています。社会貢献活動や寄附文化意識の向上にも寄与するものです。施設をご利用の際はCSO自販機をご利用ください。

「コカコーラ・ウエスト様」「西日本ビバレッジ様」ご支援誠に有難うございます。

.....
～地域福祉推進拠点のネットワーク～

佐賀県地域共生ステーション連絡会

〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島三丁目3番20号（鍋島シエストハーモニビル3F）

認定NPO法人市民生活支援センターふくしの家事務局内

TEL：0952-36-6865 FAX：0952-36-6895

メール：fukushinoie@world.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.fukushinoie.jp>

※メールアドレスが不明なところにはファックスにて送信しております。

※ファックス受信の事業所様は、お手数ですが、上記メールアドレスにご返信ください。

※このMMニュースは、関係行政機関にも配信しています。